

件 名	放射性廃棄物の管理状況（２０２５年度第２四半期）
通報日	２０２５年 １１月 ６日
概 要	<p>２０２５年度第２四半期の放射性廃棄物管理状況は別紙の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙「放射性廃棄物管理状況（２０２５年度第２四半期）」参照</li> </ul>

柏崎刈羽原子力発電所  
放射性廃棄物管理状況  
(2025年度第2四半期)

放射性廃棄物管理状況(2025年度 第2四半期)

## 1. 放射性気体廃棄物の放出量

(単位:Bq)

			全希ガス	<sup>131</sup> I	全粒子状物質	<sup>3</sup> H	備 考
原子炉施設合計			ND	ND	ND	7.5 × 10 <sup>9</sup>	放射性気体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )に排気量(cm <sup>3</sup> )を乗じて求めている。 なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 検出限界濃度は以下のとおり。  全希ガス: 2 × 10 <sup>-2</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 <sup>131</sup> I: 7 × 10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 全粒子状物質: 4 × 10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下 ( <sup>60</sup> Coで代表した) <sup>3</sup> H: 4 × 10 <sup>-5</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 以下  また、原子炉施設合計値は、端数処理のため、排気筒別内訳の合計値と一致しない場合がある。
排気筒 別内訳	1号機排気筒		ND	ND	ND	3.4 × 10 <sup>9</sup>	
	2号機排気筒		ND	ND	ND	ND	
	3号機排気筒		ND	ND	ND	ND	
	4号機排気筒		ND	ND	ND	ND	
	5号機排気筒		ND	ND	ND	2.5 × 10 <sup>9</sup>	
	6号機排気筒		ND	ND	ND	2.6 × 10 <sup>7</sup>	
	7号機排気筒		ND	ND	ND	1.6 × 10 <sup>9</sup>	
	その他 排気筒	焼却炉建屋 排気筒(荒浜側)	異常なし※1	ND	ND	ND	
焼却炉建屋 排気筒(大湊側)		異常なし※1	ND	ND	ND	ND	
固体廃棄物処理 建屋排気口		——※2——	——※3——	ND	——※3——		
年間放出管理目標値			6.7 × 10 <sup>15</sup>	2.3 × 10 <sup>11</sup>	——	——	

※1 通常レベルから変動していないことを確認して「異常なし」としている。

※2 全希ガスは廃棄物中に含まれないため管理対象外としている。

※3  $^{131}\text{I}$ 及び $^3\text{H}$ の発生量は無視できる程度と評価できることから管理対象外としている。

## 2. 放射性液体廃棄物の放出量

(単位:Bq)

		全核種 ( <sup>3</sup> Hを除く)	核種別					
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I
原子炉施設合計		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
排水口 別内訳	1号機排水口	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	3号機排水口	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	6号機排水口	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	7号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値		2.5 × 10 <sup>11</sup>						

(続き)

		核種別			<sup>3</sup> H	備 考
		<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他		
原子炉施設合計		ND	ND	ND	ND	放射性液体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排水中の放射性物質の濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )に排水量(cm <sup>3</sup> )を乗じて求めている。 なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 検出限界濃度は以下のとおり。  放射性液体廃棄物( <sup>3</sup> Hを除く): $2 \times 10^{-2}$ (Bq/cm <sup>3</sup> )以下( <sup>60</sup> Coで代表した)  <sup>3</sup> H: $2 \times 10^{-1}$ (Bq/cm <sup>3</sup> )以下 また、原子炉施設合計値は、端数処理のため、排水口別内訳の合計値と一致しない場合がある。
排水口別内訳	1号機排水口	ND	ND	ND	ND	
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	3号機排水口	ND	ND	ND	ND	
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	6号機排水口	ND	ND	ND	ND	
	7号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
年間放出管理目標値					※	

※ 設置許可申請書において、周辺公衆の線量評価上  $2.5 \times 10^{13} \text{Bq}$  を用いている。

### 3. 放射性固体廃棄物の管理状況

	固体廃棄物貯蔵庫					貯蔵設備容量(本相当)
	ドラム缶			その他※	合 計	
	均質固化体	充填固化体	雑固体			
当該期間の発生量	0 本	376 本	211 本	0 本相当	587 本相当	45,000
当該期間の減少量	0 本	0 本	248 本	0 本相当	248 本相当	
発電所内減量	0 本	0 本	248 本	0 本相当	248 本相当	
発電所外減量	0 本	0 本	0 本	0 本相当	0 本相当	
当該期間末の保管量	655 本	2,073 本	26,297 本	0 本相当	29,025 本相当	

※ ドラム缶に詰められない大型機材等であって、200Lドラム缶に詰めた場合の推定本数。

### 4. 使用済制御棒、使用済樹脂等の管理状況

	使用済燃料プール		タンク等
	制御棒	チャンネルボックス等	樹脂等
当該期間の発生量	0 本	0 本	3 m <sup>3</sup>
当該期間の減少量	0 本	0 本	0 m <sup>3</sup>
当該期間末の保管量	800 本	13,545 本	※ 2,706 m <sup>3</sup>

※ 保管量の合計値は、端数処理のため、発生量と減少量の合計値と一致しない場合がある。